



看護小規模多機能型居宅介護
ケアホーム希望

希望のぞみ



ニュース

Vol.53 平成30年2月号

(株)つつじヶ丘在宅総合センター
〒182-0006
調布市西つつじヶ丘2-19-6
第三コーポ横田 1F

☎ 03-5315-5722



～ みんなは あなたの 勇気・笑顔 に励まされた ～

Aさんとの出会いは 3年前。脳梗塞で左半身麻痺となり、その後 転倒し麻痺側の腕を骨折し手術を行った。今までとは違い 増々動けなくなり、長期療養型病棟に移り リハビリを行うも本人の意欲がなく、良くならない。

夫は「もっと妻は笑っていた」と、Aさんらしい生活を自分の家でさせてあげたいと思ったが、老老介護であったため不安は大きかった。そんな中、病院から看護小規模多機能型居宅介護「ケアホーム希望」を紹介された。

看護師に理学療法士もいて「医療と介護が一体化されていればなんとか在宅療養生活が成り立つのではないかと」と、退院を決断した。

脳梗塞による言語障害があり、言葉がうまく出なかったが、「ケアホーム希望」のサービスを利用するようになってからは、職員や利用者さん達と関わることで言葉はもとより、笑顔も増え、「ケアホーム希望」の玄関先で、来所してくる利用者さんの受付役として みんなを笑顔で出迎えてくれた。いつもAさんはみんなのアイドル的存在であった…。

リハビリも自宅で夫に介護負担を掛けたくないと頑張った。夫が疲れた日には「泊まり」のサービスを利用し、夫を気づかった。尿路感染や誤嚥性肺炎等で『ケアホーム希望』で点滴をしたりすることもあった。

食べることが大好きな Aさん、嚥下が悪くなり食事をミキサー食にするものなら「形がないと美味しくない！」と不満を言っていた。



昨年の12月頃からは、食事をあまり口にすることができなくなり、入院し 検査をするたびに体力もなくなり、口数も減っていった。検査の結果は あまり良くないものが見つかり、治療はできない状態だった。

夫は「ケアホーム希望」に戻り、苦痛がないよう看取りたいと願い、その準備もしていた矢先、急変し 天国へと旅立って逝った。

大好きな花に囲まれてた祭壇からのAさんの笑顔の写真はつい最近の 79歳の誕生日の時のものだった。

その顔からは「うちのお父さん（夫）をよろしくね」と、言わんばかりで 微笑んでいた…。

Aさん… 天国で安らかに ありがとう…！



感動を ありがとう！ 平昌冬季 オリンピック



私たち
♪東京音頭で
応援～♪

忍耐 健気さ
屈しない心
人知れぬ努力
全てを糧に
日本選手の活躍は
忘れない…
東京五輪へ続け！



平昌冬季
4 5 4
オリンピックが終わった
日本のメダルは13個と
冬季オリンピックでは
最多となった！



私はスケートの
小平選手が
よかったわ



五輪
連覇

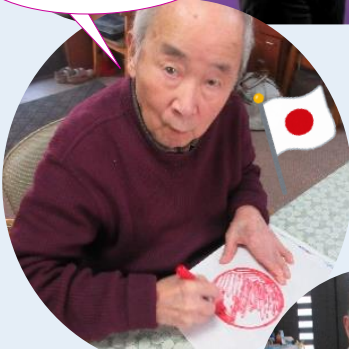
日の丸の旗は
俺が作ったんだぞ！



やった～



スピードスケートも
良かったわね。



お姉ちゃんも
妹に負けないように
頑張ったんだってね。
で…どっちが妹なの？



私たちが応援したから
羽生くんは金メダルが
取れたのよね

あの～
そうじしている
競技は何だっけか？
カローラ？
あ…カーリングか



金メダル
おめでとう！



そだね～



いくつに
なったかしら？

97歳

そうか…。
今月は私の誕生日
でしたか

80歳

2月の
誕生日会

